


分野	53	循環型社会
施策	532	ごみの減量と適正処理
5年後の目標	市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	一般廃棄物等の適正処理及び減量化啓発事業		会計	款	項	目	611,756,440	環境業務課
			一般	4	2	1		
事業の概要								
平成43年度に受容量の限界が見込まれる埋め立て地の延命化を図るため、生ごみや紙ごみを中心に更なるごみの減量化とリサイクル推進のための啓発活動を実施します。特に家庭系可燃ごみ削減のための「食品ロス削減運動」や事業系ごみ削減のための「(仮)オフィス町内会」システムを構築します。また、新たなごみ減量の方策を検討します。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	家庭系ごみ(可燃)1人/1日あたり排出量				単位	g
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	471(平成26年度)	目標	449	445	441	437	433
		実績	454	448			
	指標	ごみの総量(※平成29年度から追加した目標指標)				単位	t
	現状(計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
21,877(平成27年度)	目標		21,205	20,869	20,533	20,196	
	実績		21,441				
<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市廃棄物減量等推進審議会へ「ごみ減量を推進するためのごみ袋のあり方」について諮問を行い、審議を行っていただきました。 ・「ごみ袋の利用状況等に関する調査」を実施し、市民意識と課題の確認を行いました。 ・保育所給食調理くずのリサイクル事業や3010(さんまるいちまる)運動の推進、フードバンクへの支援による生ごみ等の削減に取り組みました。 ・「ごみ減量のしおり」や「アプリ」、「ホームページ」、「広報紙」、「保育所・小学校への出前授業」などで啓発を行いました。 ・「アゼリアエコチャレンジプロジェクト 環境への想いを絵にしよう(長岡中央商店街振興組合、教育委員会と共催)」では、市内の小学4年生の絵画710作品から選んだ4点を清掃車両1台にプリント描写しました。車両は保育所5園、小学校10校での出前授業で活用しました。 ・乙訓環境衛生組合にて、ごみの処理等を適正に行いました。 							
<p>食べ残しをなくす 30・10運動</p>  <p>食べ残しをなくす 30・10運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 店の予約では ✓ 宴会が増えたら ✓ 宴会のお開きが近づいたら 							

施策の「5年後の目標」に対する評価			
平成29年度の達成状況			
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド
		ごみの総量	ごみの総量は、平成17年度以降、継続的に減少傾向でしたが、平成24年度以降は微減傾向です。
	達成度合	B:目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系ごみが前年度比0.7%減の15,547 t(28年度15,656 t)、事業系ごみが前年度比0.5%増の5,895 t(28年度5,865 t)でした。 ・一人一日当たりのごみ排出量は725 gで、前年度(730 g)と比べ5 g減少しました。
課題等	・事業系ごみについては、経済活動の変化等により、ごみ排出量が増加傾向の状況です。排出ごみに多く含まれる資源化可能な古紙類等の分別収集を徹底する必要があります。		

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>1:計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。 ・「考える」のコンセプトにおける「ごみ減量を推進するためのごみ袋のあり方」について、廃棄物減量等推進審議会での答申内容を踏まえた調査・研究を実施します。 ・市民や事業者が古紙を排出しやすい環境を整備するため、古紙の拠点回収場所の周知を強化します。

分野	53	循環型社会
施策	532	ごみの減量と適正処理
5年後の目標	市民と行政の一体となった取り組みにより、ごみの減量・分別と適正処理・リサイクルがいつそう進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	分別によるリサイクル推進事業		会計	款	項	目	10,640,382	環境業務課
			一般	4	1	8		
事業の概要								
資源の有効活用と減量意識の高揚を図るためには市民参加型のごみ減量施策が重要であるため、自治会や各種団体など地域レベルの活動に対する支援を行います。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	リサイクル率 (資源化量+集団回収量)/(ごみの総量+集団回収量) × 100				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	14.9(平成26年度)	目標	24.4	25.0	25.4	25.9	26.4
		実績	14.6	14.2			
<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者が古紙を排出しやすい環境を整備するため、従前から取り組んでいる古紙回収を拠点回収場所として新たに登録していただき、受け入れ範囲の拡大を図りました。 ・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に取り組みました。携帯電話160台を含む20.2kgの小型家電を回収することができました。 ・「宅配便を活用した使用済み小型家電の回収サービス」で、パソコン239台を含む約2.2tの小型家電を回収することができました。 ・リユースショップ実行委員会とともに、環境フェアと乙環リサイクルフェアにて「リユースショップ」を開催し、約315kgのリユース品を提供することができました。 					資源ごみ拠点回収場所 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
		リサイクル率		<ul style="list-style-type: none"> ・京都府内のリサイクル率(平成28年度)の平均16.0%と比べて低い状況です。 ・新聞購読数の減少による影響なのか、古新聞の回収量は年々減少傾向です。 	212
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・分庁舎敷地内の拠点回収場所での古紙等の回収量は、増加傾向です。 ・古紙等の資源ごみ拠点回収場所の設置に、自治会や子ども会など38団体の協力が得られました。 ・分別収集や中間処理により資源化された量は1,287 t (28年度1,298 t)、自治会等によって資源回収された集団回収量は2,077 t (28年度2,149 t)であり、合計3,364 tが資源化されました。 ・平成29年3月に改定した一般廃棄物処理基本計画において平成29年度のリサイクル率の目標数値を17%と定めており、実績が14.2%となり、目標数値と比べて2.8%下回りました。 ・古紙等の集団回収量は1,992 tで、前年度(2,095 t)と比べて103 t減少しました。 	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物処理基本計画におけるリサイクル率の目標数値を達成するため、ごみ減量及びリサイクル率の向上に向けた、新たなごみ減量施策の研究が必要です。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京市一般廃棄物処理基本計画に定めた目標(減量化、再資源化、最終処分量削減)に向けて、3つのコンセプト(減らす、育てる、考える)に基づき、ごみ減量施策を実施していきます。 ・「減らす」において、保育所2箇所で開催している給食調理くずの再資源化箇所の拡充を実施します。 ・平成29年度から実施している古紙拠点回収登録制度の広報活動を強化します。